

第4章 計画の効果的な推進に向けて

1 関係機関の連携・強化

子どもの読書活動を推進するには家庭や地域、学校、公共図書館、その他市の関係機関全てがうるま市の課題を共通認識し、連携・協力のもと読書環境の整備等に取り組むことが必要です。市教育委員会が主体となり各関係機関の連携・協力を強化する推進体制の整備を図り、情報を収集・提供することで施策の実現を目指します。

2 社会的気運の醸成

市民一人ひとりが子どもの読書に対する理解と関心を深め重要性を認識し、読書活動促進への気運が高まるよう啓発資料のホームページや市報への掲載、関係施設や各種イベントにおける配布や掲示など積極的な広報活動を行います。さらに関連イベントの開催を通して市民の読書への関心を高めま

3 今後の取組

教育委員会が中心となり、下記事業に取り組むことで本計画の円滑な推進を図ります。

(1) 「うるま市子どもの読書活動推進委員会（仮称）」の設置

各関係課・機関を中心に設置し、関連政策の進捗状況の確認及び方策の検討を行います。

(2) 「読み聞かせボランティア連絡協議会（仮称）」の設置

うるま市内の、各方面で活動をしている読み聞かせボランティア団体の連絡協議会を設置し、連携強化を図ります。

(3) 関連イベントの実施

社会的気運を高めるため、関係機関が連携し、子どもの読書活動を促進する関連イベントを実施します。

